



河合ようこ



メール shikai@kawai-yoko.jp

河合ようこ



本会議で
代表質問

3月1日 議員団を代表して本会議で質問しました。

子どもはみんな平等に成長し 発達する権利があります



※『子どもの貧困に関する調査』の実施を

6人に1人という「子どもの貧困」は、国や自治体が責任をもって対策すべきです。大阪府や沖縄県がすでに実態調査を実施しています。京都市も実態調査すべきと求めました。

「学校や保健センター等で把握している」との答弁でしたが、議会最終盤には「実態調査をする」と市長が表明しました。

※子どもの医療費無料化 中学生まで、一刻も早く！



「本来国がやるべき」「多額の費用がかかり困難」という市長。「3期目の大事な公約」。子どものいのちの問題です。「一刻も早く」と求め続けます。

※全員制の温かい中学校給食を

「朝食を食べない」「孤食」など「食の貧困」も大きな問題です。京都市の中学校給食は、施設一体型の小中一貫校では全員給食ですが、他は選択制です。

バランスのとれた温かい給食をみんなで食することの大切さ、子どもの健康という点からも、全員制の給食が必要です。計画的に実施するよう求めました。



介護の充実を



京都市の介護保険料は政令市で5番目に高く、「保険料払ったら暮らしていけない」の声は深刻。保険料は引き下げるべきです。

また、特別養護老人ホームの待機者は4616人。市の整備計画は577人分。副市長は、要介護4、5の方のみが対象かのような答弁でした。整備計画を大幅に増やすべきと求めました。

給与・処遇改善で 保育・介護の職員を確保すべき

保育所も介護施設も、仕事に見合わない給与、人不足で先の見通しが持てず、退職者が後をたちません。

抜本的に給与引上げ、処遇改善を行い、職員を確保するよう京都市独自の対策を求めました。



安心して預けられる保育所に！

※認可保育所を増やせ 「待機児童ゼロ」と 実態は違う



保育所に入れなかった方や、3歳以降のことが心配な小規模保育利用者や事業者があることを市長は認識しているかと質し、安心して保育所に入れるように「認可保育所を増やして」と求めました。

待機児童が多く、市営保育所が1箇所もない西京区では「市営保育所がほしい」の声があることも紹介し、「コストがかかる」との理由で市営保育所を廃止する方針は撤回せよと求めました。

※保育料を引き下げよ

保育料の最高は年間107万円。3歳児の保護者では、今年度1ヵ月1万円も値上げになり、2年連続値上げの世帯もあります。保育料の引き下げ、3人目以降は所得制限なしで全員無料にと求めました。

交通格差の解消を

※敬老乗車証は今の制度で、拡充を



今年9月から今の制度のままと表明した京都市。しかし、「一定回数無料の後には、乗車ごとに一定料金負担」という方針はそのままです。「現行制度を守って」という市民の声をしっかり受け止めて、「応益負担」方針は撤回すべき。市民から陳情や請願が何度も出されている「民間バスとの共用」の早急な実施を求めました。

※市バス1日乗車券が市内全域で使えるように

桂駅～南春日まで片道410円、乗り換えしないと区役所などへ行けない。「バス代が高い。同じ税金払っているのに、なぜ1日乗車券が使えないの」との西京区民の声。住民も学生も観光客も不便です。市内全域で1日乗車券が使えるように求めました。「民間バス会社と粘り強く協議する」(副市長)と答弁がありました。



千代原口バス停に
ベンチ設置



阪急上桂・松尾大社・嵐山駅のバリアフリー化工事
開始

地元の実現が実現しました